

旅団新タニ島尻南端山城附近ノ防衛スルコトニ予定  
セラレヨリ  
二十六日日没ト共ニ之ヲ決行ス  
同日第三大隊ノ配屬ヲ解ル

戦斗経過ノ概要 其三

一 二十六日日没ト共ニ首里ヲ撤退 計畫セラルル処ニ依リ  
爾後 山川一自取真一麻文仁ヲ経テ六月四日山城ニ  
到着ス  
二 途中追尾進出セル敵ヲ山川目取閣附近ニ於テ之  
ト戦斗其ノ迫害ヲ拒止ス大ナル損害ヲ受ケテ新防衛  
地ニ到ス  
然レ兵降雨ノ為其ノ転進ハ困難ヲ極メタリ

戦斗経過ノ概要 其ノ四

一 六月四日 山城附近ニ到着後直ニ次ノ地矣ニ  
兵力ヲ配置ス  
独歩十二大隊 米須東側 同十四大隊 米須西側  
独歩十三大隊 山城北側  
旅団司令部 山城西側 東辺名附近  
旅団ノ現況ハ兵力半減 以下トナリ兵器又火炮殆ト  
ヲ失ヒ重火矣 謹テ彈藥サケ糧秣等ニ至ッテハ  
進ニ当リ之ヲ携行スルヲ得ズ加フルニ陣地施設殆ト皆  
無ノ状態ナリ為ニ六月四日一十日兵器彈藥ヲ新  
タニ補給(少量)ヲ受ケ糧秣ヲ取得シ陣地構築ヲ実  
施スル等戦斗遂行ノ準備ヲセリ  
又新タニ中繩連隊司令部一部 野戦貨物廠ノ  
一部 陸上勤務隊一部ヲ転入スルヲ以テ之



各部隊ニ転属セシメ部隊ノ整備ヲナセリ  
各部隊ノ兵員付ニ三〇〇ノ四〇〇名

二十日頃独混四十四旅団正面(仲座方面)ノ戦斗急ム  
告ケタルニ依リ命ニ基キ独歩十三大隊ヲ同地ニ進出セシメ

同正旅団長ノ指揮ニ入ラシム  
三更ニ二十五日頃旅団主力ヲ以テ麻文仁附近ノ防衛ヲ

命セラレ亦由旅団同夜山城附近ヲ六十四旅団ニ移  
讓出發ス

十六日朝司令部ハ麻文仁高地ニ到着同時ニ直宗  
平以来ノ防衛ヲ命セラレ六十四旅団(其ノ配属部隊ヲ  
合シ)配属セシメラレタリサレド敵ハ既ニ仲座附近ニ侵  
入シ彼我入乱レ同方面ノ状況(彼我共ニ詳ナラズ)  
旅団長ハ状況把握ニ努力セルモ空シク只戦斗愈々  
不利ニシテ仲座附近ハ突破セラレ一舉ニ敵ハ麻文仁

ニ進軍スルノ算大ナルヲ知レルノミ

依テ急遽独歩十三大隊ヲ以テ同方面ニ転進戦斗  
ニ加入セシム概要知り得タル當時ノ状況左ノ如シ

独混四十四旅団司令部仲座附近十五联隊同地  
臼砲一联隊用地八重瀬岳海軍中村大隊同上

独歩十三大隊仲座附近  
敵ハ主トシテ仲座與座ノ麻文仁道ニ沿フ地ニ重

要ヲ指向其ノ先頭ハ仲座附近ニアリ一部ハ仲座  
方面ヨリ八重瀬岳ヨリ背後ヨリ攻撃中

旅団ハ既ニ予備兵力ナリ愈々最後ノ一兵トナル迄  
死斗敵ヲ成ルベク長ク控束シ且出血ノ多カラシムル為

全員現地死守ヲ命ゼリ  
十七日頃ヨリ第一線ノ部隊遂次玉碎戦斗日ニ

アラズ十八日師団司令部又麻文仁ニ進出セルモ



既ニ最後ノ段階ニ到着シアル現況如何トモシ難  
只最後ノ師奉公ノ意ヲ強クセルノミ  
十九日夜第一線各部隊長ヨリ本夜切込ヲ敢行スル  
連絡アリタルヲ最後ニ遂ニ第一線トノ連絡吐絶ニテ  
朝未數十輛ノ戦車ハ麻文仁ノ山脚ニ迫リ熾烈な砲轟  
ヲ加ヘ来リ飛行機ハ機上ヨリ我ヲ頭上ニガンシ  
撒布シ之ニ莫大凶火ノ海ト化セリ  
サレトモ残存ノ旅団各兵ハ火ガルマトナル肉攻ヲ以テ戦  
車ヲ攻撃最後ノ死斗ヲナセリ  
二十日遂ニ敵戦車ハ麻文仁高地上ニ進出馬乗トナリ  
或ハ砲轟ニ或ハ爆雷ヲ洞窟内ニ投入セリ  
同夜全員一九十ノ敵中ニ最後ノ切込ヲ敢行至碎セリ  
旅団長撤ハ二十日午前二時狀烈ナル自決ヲ遂ゲ  
全般我斗經過附圖ノ如シ